
恋の行方・・圭吾の場合

丹波 武緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の行方・・圭吾の場合

【Zコード】

N2175D

【作者名】

丹波 武緒

【あらすじ】

バイト中で黒木麗佳に会った圭吾は、グレート・ペリーズという巨犬の世話をすることになった。

チビと巨大的犬がとりもつ深い恋

恋の行方

圭吾は半年前からピザの宅配をしている。

高校時代から続けているアルバイトだ。

3月の最初の日曜日、アルバイトを終えた圭吾は自慢のオンボロ愛車に乗った。

これは圭吾の汗とナミダの結晶と言えるクルマだ。ゆっくりと疲れた体をのばして、さて発信させようとしたとき、思わず叫んだ。

「わっ」

突然圭吾が後ろから手で目隠しをされたのだ。

「驚いた？」

後ろの座席からそういう声が聞こえた。

圭吾が振り向くと、そこには黒木麗佳が首をすくめて茶目っ氣たっぷりの顔をしている。

圭吾と黒木麗佳とのそもそもその出会いは半年前にさかのぼる。初日、三軒目のピザの配達に行つた圭吾は、黒木麗佳の家の大きさに驚いた。

・・・こんな家に住んでいるひといるんだ・・

巨大な石積みの塀が長さ100メートルも続いている。門を見つけた圭吾は、インターフォンを押した。

「えー、ドンキーピザですが配達にきました」

しばらくすると、可愛い声で返事があった。

「あら、遅かつたじゃない、そのドアを開けるから入つてきちゃうだい」

すぐさま自動的にドアが開けられる音がした。

恐る恐るドアを開けて、石たたみの上を歩き始めた。奥の家まで広い庭が続いている。そのとき、

巨大な白い生き物が正面から飛びかかってきた。

「わっ」

それはあとでわかったことなんだけど、

グレート・ピレーヌズという犬だったのだ。

そいつは、圭吾の顔をなめ回し、大きな手で胸をかきむしってくる。

「ダメよ！ チビちゃん」

若い声がした途端に巨大犬は圭吾から離れた。

さいわい、ピザは横においていたから良かつたんだが、もう少しで商品を無茶クチャにされるところだった。

・・・何がチビなんだ、でつかい図体をして・・

そういうえば、店長が黒木さんところは犬がいるから気をつけろって言つていたことを思い出した。

・・それまであまり笑顔のない店長が笑いながらそつ言つたわけがわかつたぞ・・

「ごめんなさいね、ピザ屋さん、でもこのワン」「が初めて会つたひとにこれだけなつくのは初めてよ」

「いいえ、かまいません、あの、ピザです」

「ありがとう、でもあなたの服、チビのよだれでずいぶん汚れたみたいね、家に入つてちようだい、きれいに拭かせて」

「いやー、いいですよ」

「そんなことを言わないで、・・・」

「そうですか、・・・」

一人で玄関に向かうと巨大犬が先に入つていった。

50平米くらいのマンションに住む圭吾は、建物の大きさに圧倒さ

れていった。

「ふーん、こんな家もあるんだ」

「さうよ、パパは何でも大きいのが好きなの」

「お父さんは」

「今、イタリアにいるわ、今月いっぱいは」

「じゃお母さんと」

「質問が多いわね、パパとママは離婚したの」

「そうだったんですか」

「少し待ってね、上着を拭いてくるから、、

それとあなたアルバイトしない」

「えつ、今アルバイトしてるんですけど」

「そのバイトしながらよ」

「どんなバイトですか」

「このチビちゃんの散歩、シャンプー、そんな世話をすべてよ

「まあ、週に1、2回なら、、、」

「それでいいわ、ギャラは1回1万円よ」

「えつ、そんなにたくさんですか」

「あなた、これは簡単な仕事じゃないのよ、パパからチビちゃんのために毎月20万をもらっているんだから」

そういうわけで圭吾の第2のバイトが始まったのだ。

そして、簡単な仕事じゃないのよと黒木麗佳の言葉の意味を深く理解することになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2175d/>

恋の行方・・圭吾の場合

2011年1月19日05時31分発行